



## 学校評価の結果

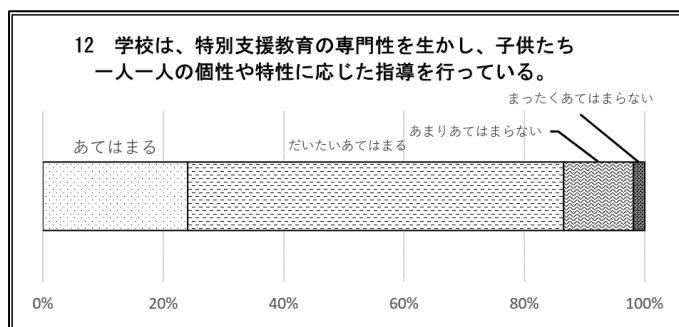
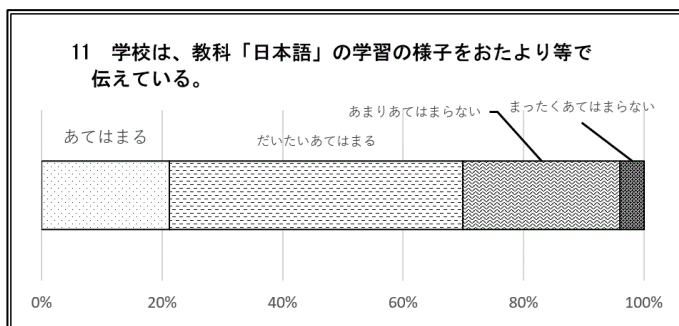
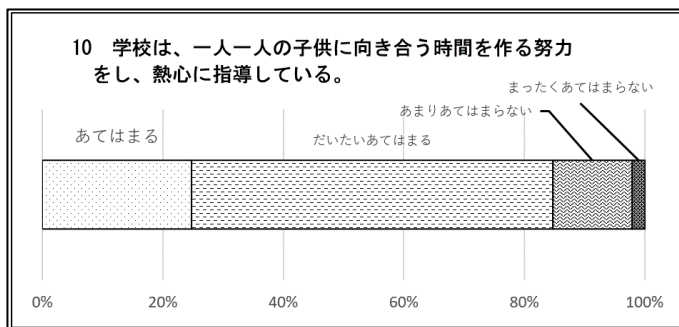
7月に実施した学校評価については、ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。結果を踏まえ、学校としては、どの項目についてもさらに改善するよう努めて参ります。

今回の結果で、学校として特に改善が必要だと感じた項目は、「10 学校は、一人一人の子供に向き合う時間を作る努力をし、熱心に指導している。」、「11 学校は、教科「日本語」の学習の様子をおたより等で伝えている。」、「12 学校は、特別支援教育の専門性を生かし、子供たち一人一人の個性や特性に応じた指導を行っている。」の3項目です。

教科「日本語」に関しては、各学級でどのような学習をしているのか、保護者の皆様にとって、わかりにくい状況になっていたと反省をいたしました。今後は、学級だよりや懇談会、授業参観等で紹介していきたいと思えます。

また、特別支援教育に関して、子供たち一人一人の個性や特性に応じた指導を行うため、研修会などを実施して、専門性を高めるよう努めておりますが、まだまだ行き届かない部分が多いと思えます。今後も引き続き、特別支援教育の専門性を高めるとともに、子供たち一人一人の個性や特性に応じた指導を心がけて参ります。

学校評価は、子供たちにとって望ましい教育を行うため、保護者や子供たち、職員からの意見を聞き、更に改善していくことを目的としています。今回の結果を受け、良いと評価された部分はさらに磨きをかけ、改善が必要と評価された部分は思い切って見直しを行っていききたいと思います。今後とも本校の教育活動に対してご理解とご協力をお願いいたします。



### 校長のひとこと

ある日の朝、ちょうど登校時刻になって雨が降ってきました。昇降口に立って挨拶をしながら、そういえば雨の日には、1年生の傘をたたみ、とめる手伝いをしていたなあと以前のことを思い出しました。登校してくる1年生の様子をじっと見ていると、ほとんどの子が、自分できちんと傘をたたみ、くるくると巻いたあと、ホックで止めています。毎日、見ていると成長に気づかないけれど、子どもたちは着実に成長しているんですね。私はお腹以外、成長はみられません・・・。